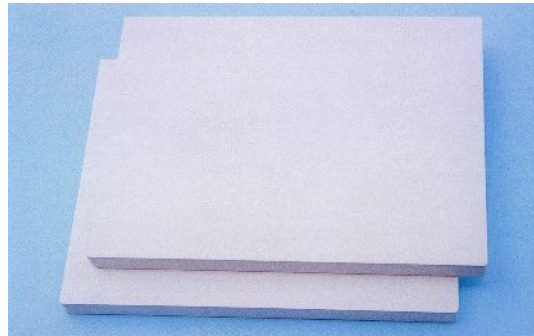


## イソライト、環境負荷軽減した高温用耐火断熱ボード発売

【日刊工業新聞】平成21年1月20日、16面

イソライト工業は環境負荷を軽減した高温用耐火断熱ボード「イソウルエコボード」を2月1日に発売する。価格は標準サイズ品（900ミリ×600ミリメートル、厚さ50ミリメートル）で1万3500円。熱処理炉をもつ自動車部品やIT関連業種などへ拡販し初年度6000万円、翌年度1億5000万円の販売を目指す。



同社の従来品は初期加熱段階で成形に用いた有機質の硬化材料が燃焼する。そこで、煙やにおいを嫌う顧客には焼成工程を追加し出荷していた。開発品は原料のセラミックファイバーを板状成形する際、無機質のシリカゾルを硬化剤として採用した。有機材料を一切使わないので、使用開始時の二酸化炭素を含む煙や悪臭の発生を抑えた。しかも従来品と同等の耐火断熱性（最高使用温度1260度C）を実現した。内部が柔らかく外周面が堅いので作業性が良く、製造が困難だった150ミリメートルまでの肉厚品も一体成形できる。エコボードの内部と外周面の硬度を均一にする加工法も確立しており特許出願中。円筒形状品などとともに製品化を進め09年4月の発売を予定している。今後は「高温域の製品展開に拍車をかけ鉄鋼関連で市場拡大を図る」（葛原貞春常務）